

第23回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成23年2月

応募者名: 栃木県 宇都宮市 建設部 道路建設課

事業の名称: 宇都宮都市計画道路3・3・102号

宇都宮水戸線(大寛)

実施都市名: 栃木県 宇都宮市

事業目的

都市計画道路3・3・102号宇都宮水戸線は、宇都宮市都市計画道路の中で最も長い延長17,060mの道路で、鹿沼市境から宇都宮市の中心市街地を経て、鬼怒川左岸の清原工業団地を結ぶ極めて重要な幹線道路である。本事業区間は、宇都宮水戸線の最後の未開通区間であり、都心環状道路と内環状道路を結び、延長は810mの区間である。この区間の整備により都市間連携や本市中心市街地と拠点間の連携強化が図れるとともに、災害時における円滑な道路交通の確保が期待される。

事業概要

事業名称:宇都宮都市計画道路整備事業

路線名:都市計画道路3・3・102号宇都宮水戸線(大寛)

事業箇所:栃木県宇都宮市大寛2丁目～西大寛2丁目

事業延長:810m

幅員:25m

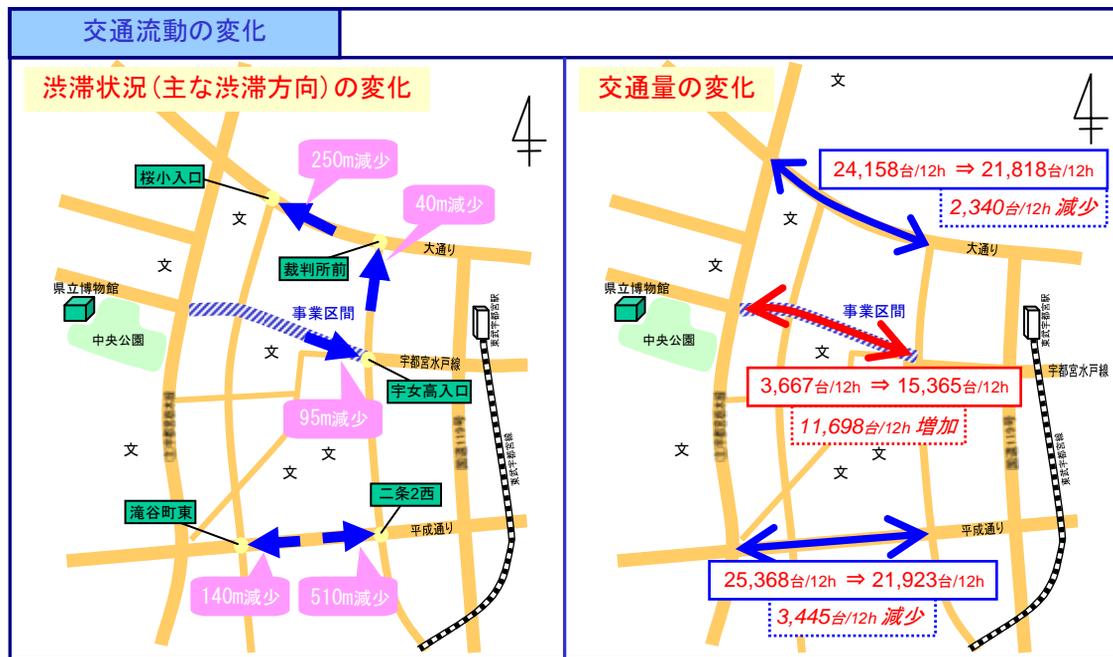
事業費:約70億円

事業実施期間:平成9年～平成21年

本事業は、宇都宮市の中心市街地の西側に隣接する住宅地密集地を東西に貫く延長810mの新設区間である。道路幅員25m、車道4車線と中央分離帯を有し、両側に植樹帯を含む歩道4.5mを設けている。

なお、この区間は、宇都宮市地域防災計画において2号避難路に、さらにこの両側は、緊急輸送路に指定されており、それを補完する路線として、災害時の道路空間の確保や道路景観などを考慮し、電線類の地中化を実施している。

宇都宮水戸線(大寛)の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名: 宇都宮都市計画道路整備事業
 路線名: 都市計画道路3・3・102宇都宮水戸線(大寛)
 事業箇所: 宇都宮市大寛2丁目～西大寛2丁目
 事業延長: 810m
 幅員: 25m
 総事業費: 70億円
 事業期間: 平成9年～平成21年

○交通量調査結果

供用前 平成19年11月実測
 供用後 平成22年10月実測
 ・交通量の推移
 宇都宮水戸線(大寛)
 3,667台 → 15,365台 **11,698増**
 大通り 24,158台 → 21,818台 **2,340減**
 平成通り 26,056台 → 24,132台 **3,445減**

「整備効果」

○渋滞の解消・緩和

路線名	交差点名	進行方向	最大渋滞長		
			整備前	整備後	前後比較
大通り	桜小入口(仮)	西進	250m	0m	渋滞解消
	裁判所前	北進	40m	0m	渋滞解消
宇都宮水戸線	宇女高前(仮)	東進	110m	15m	渋滞緩和
平成通り	滝谷町東(仮)	西進	300m	160m	渋滞緩和
	二条2西(仮)	東進	520m	10m	渋滞緩和

○宇都宮西部地域と中心市街地とのアクセス向上

開通前	9.6分
開通後	6.2分
短縮時間	3.4分 (35.4%)

宇都宮西部地域(鶴田町)から宇都宮市役所までが

3.4分の短縮効果

○市街地東西交通軸の構築に伴う交通円滑化と新規誘発交通量

- <事業区間の増加交通量> 約 11,700台/12h
- <競合路線からの転換交通量> 約 5,800台/12h
- <新規開通に伴う誘発交通量> **約 5,900台/12h**

事業前写真

平成19年9月撮影



平成17年3月撮影



平成20年4月撮影



事業後写真

平成23年1月撮影



平成21年12月撮影



平成21年12月撮影

